平成29年5月

道北支部ニュース

発行人　前田　健太郎
編集人　近藤　伸英
第116号

Index

✓ 新役員あいさつ
✓ 道北支部活動報告
✓ 道北支部掲示板

新役員あいさつ

支部長　　前田　健太郎（かわむら整形外科医院）

　いつも大変お世話になっております。引き続き支部長を務めさせていただきますので、よろしくお願いします。
　支部の主な目標は、①理学療法士の技術力向上、②地域包括ケアシステムの構築、③ボランティア活動による社会貢献、④会員間の関係強化です。特に、道北支部では顔の見える関係が維持されていると思います。これには様々な効果があり、私自身もそこで生まれた仲間が心の拠り所になっています。
　みなさんもぜひ多くの活動へ参加し、交流の輪を広げてみてください。そして、一緒に道北支部を盛り上げましょう。
　どうぞよろしくお願い致します。

副支部長　　千葉　恒（富良野協会病院）

　道北支部副支部長の千葉です。
　2025年問題まで8年を切り、地域包括ケアシステムの構築が叫ばれている昨今、理学療法士への期待は益々高まっています。理学療法士15万人時代も到来しました。
　職場で皆さんが果たすべき役割は勿論のこと、5年先、10年先を見据えた視点を持ちながら、日々の業務に取り組むことが、これからの時代では必要になるのかもしれません。
　道北支部では、時代のニーズに応じた研修会や学術活動を数多く企画しております。道北エリアの住民に均一なリハビリテーションが提供できるよう、会員皆様と共に研鑽を重ねていければと思っております。
　どうぞよろしくお願い致します。

副支部長　　齊藤　浩平（森山メモリアル病院）

　前期より引き続き、副支部長を務めさせていただきます齊藤浩平です。
　道北支部は500名以上の会員から構成されております。年々、数多くの仲間が増えることは喜ばしいことですが、その反面、各々がキャリアデザインについて考えていかなければならない、そのような時代になっていると感じております。
　支部活動では、様々な年代のセラピストの知識・価値観に触れる機会があり、施設間の垣根を越え学んでいけるという特徴があります。若い先生方には研修会・社会活動などの機会を通じて、自らのアイデンティティを高めていただきたいと思います。そのため、微力ではありますが役員として会員の皆さんが活動しやすい環境を整えていきたいと考えております。
　どうぞよろしくお願いします。

事務部部長　　阿部　慎一（市立旭川病院）

引き続き2期目の事務部部長を務めさせて頂くことになりました。
事務部の主な業務は、①道北支部ニュース作成、②北海道理学療法士協会道北支部のホームページ更新、③支部役員会・拡大役員会の議事録作成、④研修会等の配信、⑤公文書管理、⑥新人歓迎交流会の企画・運営などです。①②については、近藤 伸英広報責任者（北都保健福祉専門学校）、石川 紗央季部員、小笠原 香織部員（共に山下整形外科クリニック）が担当しています。③の議事録作成は当院の松岡 雅也書記の業務になっております。
１期目は多くの会員の皆様にお世話になり、大変ありがとうございました。
尽力していきたいと思っておりますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

学術・教育部部長　　内藤　考洋（旭川リハビリテーション病院）

前期より引き続き学術・教育部部長を務めさせて頂きます旭川リハビリテーション病院の内藤考洋と申します。
学術・教育部にかかわらせて頂き、早4期目となり、これまで会員の皆様には学術・教育部の活動に対するご理解を賜り、感謝申し上げます。
今年度も会員の皆様、そして患者様・対象者様にとって有益となるような研修会を多く企画しております。
学術・教育部員一丸となって「学び」を後押しさせて頂く所存ですので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

社会部部長　　岩瀧　廣大（森山メモリアル病院）

この度、社会部部長を前期から継続して務めさせて頂くこととなった森山メモリアル病院通所リハビリテーション事業所の岩瀧廣大と申します。
これまで、学術部員として2年、社会部員として2年、社会部部長として2年、北海道理学療法士会道北支部役員として活動させて頂き、さらに2年の任期を与えて頂いたことに感謝しています。
理学療法士が地域で活動していくことは重要で、介護予防事業、スポーツイベントなど私達を必要としてくれている方々が大勢います。働く職場、卒業した学校、年齢、経験年数が違っても、楽しみながら笑顔で活動できる社会部を目指し、少しでも多くの理学療法士に地域で活動することのやりがいや楽しさを知ってもらいたいです。
技術、経験、自信がなくても皆様1人1人には必ずできることがあり、必要としてくれる方々がいます！！
一緒に一歩踏み出してみませんか？？

Knowing is not enough; we must apply. Willing is not enough; we must do.
by Johann Wolfgang von Goethe（ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ）
知ることだけでは十分ではない。それを使わなくてはいけない。
やる気だけでは十分ではない。実行しなくてはいけない。

職能部部長　　尾形　俊宗（旭川三愛病院）

この度、道北勤医協一条通病院の糸田先生から引き継ぎ、職能部を担当することになりました旭川三愛病院の尾形俊宗と申します。
職能部の活動としては、地域包括ケアシステムを進めることを目標とし、地域ケア会議への参加体制作りや高齢者サークル支援、サークルリーダーの育成等を地域包括支援センターと連携し実施したいとを考えております。
今年度より、旭川市地域リハビリテーション活動支援事業を支援することになっております。セラピストの職域が今後どのように変化し何が求められるようになるのか、また、セラピストが地域と連携することの大切さと難しさを皆様と一緒に考え、情報共有していきたいと考えております。
何卒宜しくお願いいたします。

職能部地域包括ケア担当　　小林　浩（森山メモリアル病院）

　職能部内地域包括ケアを担当します、森山メモリアル病院指定訪問リハビリテーション事業所の小林浩です。
　地域包括ケアの部門では、主に地域リハビリテーション活動支援事業におけるリハビリテーション専門職に求められています住民運営の集いの場支援、地域ケア会議参加、訪問・通所での支援の対応に向けての活動支援や情報提供など行っていきます。
　理学療法士をはじめとするリハビリテーション専門職は、地域支援事業の中においても、その知識や技術が求められています。
　リハビリテーション専門職が活動の領域を広くそして深く展開できるよう努力していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

会計部部長　　太田　雄介（豊岡中央病院）

　会計部長として2期目を務めさせていただく豊岡中央病院の太田雄介と申します。
　会計部の業務は、主に事業・会議などで生じる金銭面の管理や書類作成などをしております。会計業務を経験して1つの事業を開催するためには多くの方のご尽力があって成り立っている事に気付かされております。
　現在、支部事業では道北学会をはじめ各種研修会や地域、社会活動などが活発に行われております。事業の拡大に伴い業務も複雑になっておりますが、皆さまのお役に立てる様に陰ながら運営のお手伝いをさせていただきます。
　今後共よろしくお願い致します。

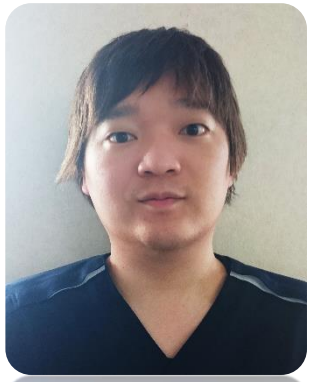
地区幹事（上川中部地区）　　片野　真奈未
（森山メモリアル病院訪問リハビリ事業所福祉村サテライト出張所）

　引き続き、上川中部地区幹事を務めさせて頂くことになりました、森山メモリアル病院指定訪問リハビリテーション事業所福祉村サテライト出張所の片野真奈未と申します。
　道北支部は広域に渡っており、各地区幹事の方々と連携を図り情報共有していきたいと思います。また、上川中部地域リハビリテーション推進会議作業部会、旭川市医療・介護連携推進検討会、上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会に参加させていただいています。
　微力ではありますが皆様のお役に立てるよう努力して参ります。
　どうぞよろしくお願い致します。

地区幹事（宗谷地区）　蠣崎　和史（稚内禎心会病院）

　今年度も宗谷地区代表幹事を継続させて頂きます稚内禎心会病院の蠣崎和史です。
　宗谷地区は現在、31名の理学療法士が勤務しています。今年の4月より稚内市に2名、枝幸町と猿払村にそれぞれ1名の理学療法士が就職しました。
　管内10市町村の中でリハビリテーション専門職がいない地域は幌延町のみとなりました。徐々にスタッフが充足していますが、地域包括ケアシステムの実現へ向けて地域偏在や絶対量の不足は地域の課題と思われます。
　毎年開催させて頂いております「地域キャラバンin稚内」ですが、今年は９月に開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。また、引き続き名寄地区高野連メディカルサポートも上川北部地区と協力し継続致します。
　今年度もよろしくお願い致します。

地区幹事（上川中部地区）　小坂　卓也（臨生会吉田病院）



今年度から2年間、上川北部地区の幹事を担当させていただくことになりました、臨生会吉田病院に勤務しております小坂卓也と申します。

上川北部地域では広大な土地も相俟ってマンパワーが不足している現状であり、今後も地域におけるリハビリ資源の必要性が増えていくと考えられるため、人材育成や情報共有をより密に行うことが大切になると感じております。

上川北部地域の活動としては、地域ケア会議や、リハビリテーション推進会議、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士合同の勉強会などを開催し、連携を図ってきました。

このような役は不慣れで、至らない点もいくつもあると思いますが、今後も地域の結びつきをより意識し、協力した関係を築いていけるよう、上川北部地域のスタッフの皆様と頑張っていきたいと思っています。

どうぞ宜しくお願いいたします。

地区幹事（留萌地区）　金子　龍英（留萌市立病院）

謹啓　薫風の候、みなさまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度、北海道理学療法士会道北支部留萌管内幹事を拝命いたしました。

微力ではございますが、本会の発展と充実のために、努力する所存です。

ご指導ご鞭撻を受け賜りたく心よりお願い申し上げます。

謹白

地区幹事（富良野地区）　安斎　千善（富良野協会病院）

本年度も引き継ぎ富良野地区幹事を務めさせて頂きます富良野協会病院の安斉千善と申します。

昨年から取り組んでおります介護予防を中心とした地域活動は現在、ふれあいサロンへの定期的な介入も少しずつですが始まっています。また、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）を通して作業療法士、言語聴覚士とも連携して地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

微力でありますが富良野地域のリハビリテーション発展のため会員の皆様のご協力を頂きながら地域へ少しでも貢献できるよう努力してまいります。

宜しくお願い致します。

道北支部活動報告

道北支部　新人歓迎交流会

5月27日に道北支部の新人歓迎交流会が催されました。57名（現職者25名、新人32名）の会員が参加され、他病院の先生方と交流を深めました。

また、新人歓迎交流会の中で、長年道北支部の活動に携わり、6月で地区理事を退任される木村和久先生（旭川赤十字病院）に花束贈呈が行われました。

前田支部長あいさつ

新人自己紹介の様子

６月で地区理事を退任される木村先生への花束贈呈

高校野球サポート活動報告

とくひろ整形外科クリニック
理学療法士　荻原　祐樹

平成29年5月10～14日・19～21日に春季旭川支部予選が開催され、大会へのサポートとして1日2～3名の理学療法士が参加しました。

サポート内容は試合に登板した投手へのアイシングや試合終了後の選手に対するストレッチの指導を行いました。また、試合前や試合中のテーピングや熱中症などによる体調不良などに対しても看護師と連携し、対応しています。

試合中はデッドボールや選手同士の接触など怪我につながりそうな場面が多々あり、病院での業務とは違う緊張感がありますが、経験のある先輩方がついてアドバイスを頂けるため、安心してサポートに専念できています。

当院では投球障害の患者様がいるため、来院していた選手が試合で元気にプレーしている姿を見ることができるのも楽しみの一つです。

実際にスポーツの現場に参加することで経験できることがたくさんあり、理学療法士としての幅も広がると思うのでたくさんの方に参加して頂けたらと思います。

試合中の様子

試合後のストレッチの様子

道北支部掲示板

～学術部より重要なお知らせ～

支部事業に関しては完全事前申し込み制を導入いたしております。これは当日の突発的なキャンセル防止、運営スタッフの負担軽減を主目的に行っております。ついては、事業の申込締切日時点までのものを有効としています。従いまして、**事業に関しては事前申し込みがない方が、直接、会場に来場した場合は受講不可となります。**また、事前申し込みをしたが期日までに事前入金をしていない場合も同様の扱いとなります。

また、昨年度より**領収書の発行にも事前の申込みが必要**となっております。事業当日は事前に申し込みがなければ領収書は発行できませんのでご注意ください。

協会主催の研修会等には必ずご持参下さい！！

<次号予定>

- ✓ 支部事業活動報告
- ✓ 道北支部掲示板
- ✓ 平成29年度役員会議議事録

～編集後記～

前期から引き続き、広報責任者を勤めさせていただく北都保健福祉専門学校の近藤伸英です。会員の皆様には今後も、道北支部の活動や地域包括ケアシステムにおける活動状況をお伝えできればと思います。

２年間、支部ニュース作成に携わっていますが、まだまだ改善点などがあると考えています。より良い内容が作成できるように、部員の石川、小笠原とともに頑張っていきたいと思います。

今後とも宜しくお願い致します。

問い合わせ先　北都保健福祉専門学校　近藤伸英
E-mail:kondoun@hokuho.ac.jp